

# 安全報告書 2025



伊勢鉄道株式会社

# 1 お客様はじめ地元の皆様へ

平素は伊勢鉄道をご利用いただくとともに、事業運営にご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度に大きく旅客輸送量が減少しましたが、令和3年度、4年度、5年度と確実に回復してきました。令和6年度は、地域の通勤・通学に利用されています定期輸送量はコロナ禍前を上回りましたが、定期外のお客様は前年を若干下回る状況になりました。その結果、当期の回復は予想以上に鈍化し、コロナ禍前の輸送量と比較すると93%となりました。今後もコロナ禍前まで輸送実績が回復することは困難と考えられ、「経営改善計画」に基づく対策を進め、事業を長期的に安定して持続するための方策を再検討する必要があります。また、当社の線路設備の多くは50年以上が経過しており、老朽化に伴うメンテナンスや設備更新が重要な課題となっています。

このような厳しい経営環境のなか、鉄道事業の原点である輸送の安全確保を最優先に、基本動作の徹底とルール遵守の定着を図るとともに、中期安全設備計画に基づき、着実に設備の維持・更新に努めてまいりました。また、8月の南海トラフ臨時情報や台風、大雨による運転規制や車両故障等による運休はありましたが、インシデントなど特に大きなトラブル・事故はなく、一年を通じて、安全・安定輸送を確保することができました。これは、当社の「安全基本方針」を社員一人ひとりが自覚し、一丸となって取り組んだ結果として達成できたものと考えています。

今後とも、「安全基本方針」に基づく業務を徹底することで、「伊勢鉄道が安全で安心できる鉄道」として、より多くのお客様にご利用いただけますよう、全社員が一丸となって事故防止に努めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに、広く皆さまにご理解いただくために公表しているものです。

皆さまの声を輸送の安全に生かしてまいりますので、ご一読いただき、忌憚のないご意見、ご感想をお寄せください。

伊勢鉄道株式会社  
代表取締役社長  
鈴木 伸幸

## 2 基本方針と安全目標

### (1) 基本方針

安全輸送の確保は経営の根幹であり、「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全社員に周知・徹底しています。

#### 安全基本方針

1. 全社員一丸となって、輸送の安全の確保に努める。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正なる業務遂行に徹する。
3. 確認の励行に徹し、疑わしいときは最も安全と思われる取扱いを行う。
4. 事故・災害等が発生したときは、列車防護・人命救助を最優先に行動し、情報連絡を確実にを行う。
5. 常に問題意識をもち、必要な変革を行う。

### (2) 安全目標

当社は「安全基本方針」を受けた以下の「輸送安全目標」を定め、日々輸送の安全確保に取り組んでいます。

#### 輸送安全目標

1. 列車事故（衝突・脱線・火災）及びインシデントを発生させない。
2. 踏切障害事故を発生させない。
3. 人身障害事故を発生させない。

※インシデント：鉄道運転事故が発生する恐れがあると認められる事態

2024年度は、ご利用のお客様が怪我をする重大事故やインシデントの発生はありませんでした。2025年度も以下の安全重点実施計画に取り組み、安全の確保に努めます。

### 2025年度 安全重点実施計画

実施項目	具体的な取り組み
事故防止意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社員から「ヒヤリ・ハット」を収集し、その情報と対策の水平展開。(必要により設備改良等の対応を行う。)</li> <li>○毎月管理社員による現場の巡回点検(添乗を含む)を実施し、社員の安全意識の醸成、基本動作の徹底を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅輸送や乗務社員のアルコールチェックの徹底と、飲酒や私物スマホ使用による不祥事防止の指導を継続する。</li> </ul> </li> <li>○「他山の石」などの「事故情報」を掲出し、社内における情報の共有化を図り、事故防止につなげていく。</li> <li>○工事前の事前確認、工事開始時の業者を含めたKYT実施などにより、運転事故及び労働災害の防止に努める。</li> <li>○安全マネジメントを推進する中で社内安全監査を実施し、安全管理体制に不備のないことを確認する。</li> </ul>
基本動作の徹底及び規程の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本動作及びマニュアルの整備を継続し、その遵守を指導・徹底する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に線路内立入、線路内作業時のルール遵守を徹底し、待避不良を撲滅する。</li> </ul> </li> <li>○基本動作の実施状況を把握するため、指令室巡回、客室添乗などの業態確認を強化する。</li> <li>○疑わしいときは躊躇することなく、安全確保のための処置を行えるよう、繰返しの訓練を実施する。</li> <li>○ホーム位置及び旅客乗降確認を確実に実施、ドア扱いに係る事故を発生させない。</li> </ul>
教育の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社員個々の知識・技術のレベルを確認し、各々に合った教育訓練を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の扱いを良しとせず、現状に適したルールへの見直しや分かり易い手順書、マニュアルの整備を推進する。</li> </ul> </li> <li>○接客サービス向上に資する訓練を実施し、接客に関する苦情を低減させる。</li> <li>○過去事例の活用による同種事故の撲滅を図る。</li> <li>○多能化を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・職種を横断することにより知識技能を高め、業務の最適解をアウトプットできる社員を育成する。</li> </ul> </li> </ul>
異常時における速やかで的確な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運転規制の取扱いを定期的に周知し確認し、確実に実践できる体制を維持、構築する。</li> <li>○危機管理要綱に沿った速やかな対応方を徹底するとともに、異常時対応能力を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者不審物の対応訓練を実施し、対応能力の向上を図る。</li> </ul> </li> <li>○JR東海との(会社間境界での)異常時合同訓練を実施し円滑な連携ができるよう、協力体制の確認を行う。</li> <li>○大規模地震の発生に備え、迅速な連絡体制の構築と避難誘導が実践できるよう、定期的に体制の整備点検や訓練を実施する。</li> <li>○事故発生時には「防護・救護・連絡」の大原則を実践できるよう、定期訓練で鍛錬し、継続して指導していく。</li> </ul>
安全安定輸送設備の改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イセ104号の重要部検査、設備機器の保守・点検を確実に実施し、安全・安定輸送を確保する。</li> <li>○経年が進むまくら木やレール、のり面設備等を改良更新し、安全性を確保する。</li> <li>○橋りょうの経年によるコンクリートの劣化・剥落、鉄筋露出をコンクリート保護工で更新し、健全性の確保と延命化を図る。</li> <li>○設備整備工事量が増大する中、安全で確実な工事施行を完了する。</li> <li>○軌道関係の検査・点検を実施し、年度内に管理目標を下回る箇所「ゼロ」を継続する。</li> </ul>

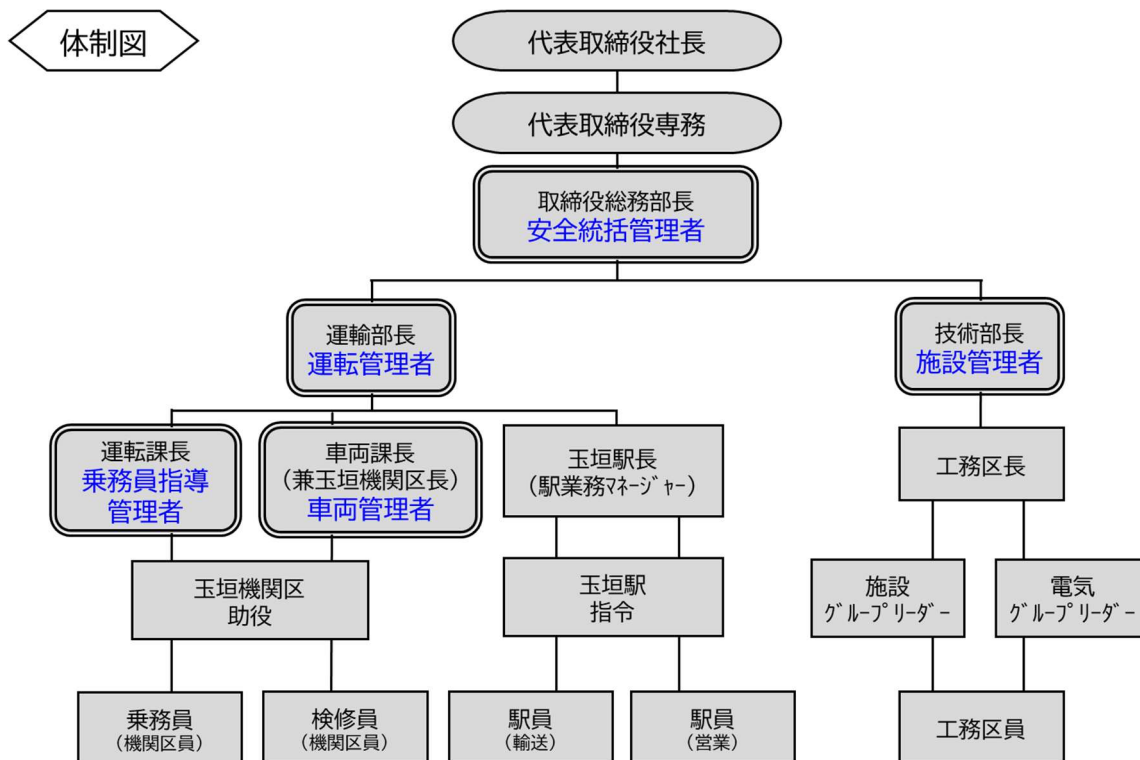
### 3 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。また、毎月1回、安全対策会議を開催し、過去の運転事故や労働災害の事例を改めて検証したり、「事故のたね」である「ヒヤっとした・ハットした」出来事の記録を活用したりして、現状の問題点の抽出・改善策等を話し合い、安全度の更なる向上に努めています。

#### <安全管理体制の役職・役割>

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
車両管理者	運転管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。

#### <安全管理体制図 2025.7.1>





## 4 事故等の発生状況と再発防止措置＜2025 年度＞

(1) 鉄道運転事故（「鉄道事故等報告規則」に規定する事故）

鉄道運転事故の発生はありませんでした。

(2) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

2024年	7月20日	車両故障（エンジン停止）により列車運休2本、列車遅延3本（最大遅延40分）
	8月26日	降雨による災害支障により列車遅9本（最大遅延60分）
	8月29日	台風10号接近に伴う大雨、風の影響による災害支障により列車運休25本、列車遅延9本（最大遅延72分）
	8月30日	前日からの台風10号の大雨、風の影響による災害支障により列車運休26本
	9月2日	車両故障（ATS電源一時低下）により列車運休6本、列車遅延1本（53分）
	9月10日	河芸駅信号故障（雷害による制御リレー焼損）により列車運休4本、列車遅延多数（最大120分）
	9月14日	車両故障（エンジン停止）により列車遅延2本（最大遅延62分）
	9月21日	小動物衝撃による輸送支障により列車遅延1本（33分）
	9月28日	線路内に立ち入った人との衝撃による人身障害により列車運休9本、列車遅延12本（最大遅延160分）
	10月3日	降雨による災害支障により列車運休4本、列車遅延10本（最大遅延51分）
	12月14日	車両故障（エンジン停止）により列車運休2本、列車遅延3本（最大遅延43分）
2025年	3月22日	河芸駅の転てつ機故障による輸送支障により列車運休22本、列車遅延4本（最大遅延213分）

(3) インシデント（鉄道運転事故が発生する恐れがあると認められる事態）

インシデントの発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

国土交通省からの行政指導はありませんでした。

## 5 輸送の安全確保のための取組み

### (1) 重点安全施策（安全関連投資）

2024年度は、①まくらぎ更新（木まくらぎ⇒PCまくらぎ）、②まくらぎ更新（PCまくらぎ同種更新）、③のり面の改良（河原田～鈴鹿駅間 55.0m）、④車両重要部検査（イセ 103号）、⑤停車場設備塗装更新（2駅の上屋塗装等）、⑥踏切道更新（神社前踏切軌道）を行い、合計102百万円を投入し、安全・安定輸送設備の整備改良工事を行いました。

（※以下は工事件名写真の一部）

#### ①まくらぎ更新

（木まくらぎ⇒PCまくらぎ）



（レール継目部）

#### ②まくらぎ更新

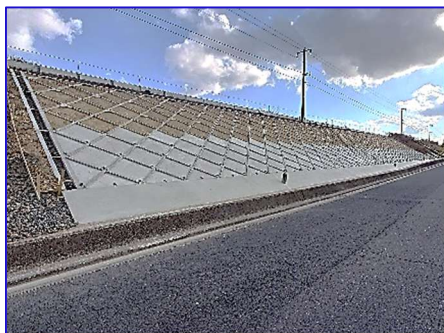
（PCまくらぎ同種更新）



（千里ヶ丘トンネル）

#### ③のり面の改良

（河原田～鈴鹿駅間 55.0m）



#### ④車両重要部検査

（イセ 103号）



（イセ 103号の台車外しの様子）

#### ⑤停車場設備塗装更新

（2駅の上屋塗装等）



（鈴鹿サーキット稲生駅下りホーム）

#### ⑥踏切道更新

（神社前踏切軌道）



（更新後の軌道）



2025年度につきましても、①レール更新（同種更新 総延長 950m）、②まくらぎ更新（PC⇒PC 数量 138 本）、③まくらぎ更新（木⇒合成、鈴鹿川橋 数量 179 本）、④のり面改良（河～鈴間の約 50m、格子ブロック 510 m<sup>2</sup>）、⑤橋りょう更新（2 箇所の架道橋更新）の安全設備関連工事のほか、⑥車両の重要部検査の保全関連工事を計画しており、今後とも安全の維持・向上のため各種設備の整備・改良に積極的かつ着実に取り組んで参ります。

## （2）人材教育

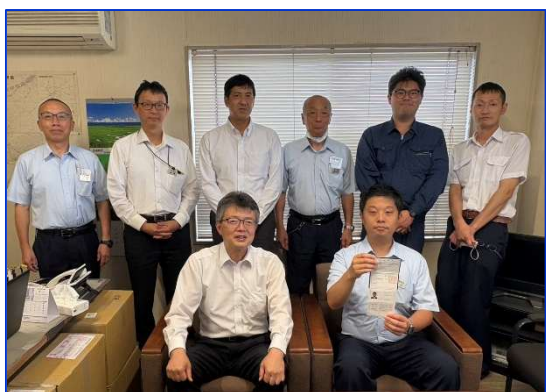
当社は、安全目標を達成するための「安全重点実施計画」を定め、それをもとに駅（指令）や機関区（運転士）、工務区等の関係部署がそれぞれに詳細な年間計画を策定し、毎月（運転士・工務社員）及び四半期ごと（駅社員）に訓練会・勉強会を開催して知識・技能の向上を図っています。また、新入社員や若手社員の育成・技術継承にも取り組んでいます。



駅訓練（伝令法模擬）



乗務員訓練（添乗）



動力車免許交付（養成 R6.10～）



転てつ機手回しハンドル訓練

その他、国土交通省や中部鉄道協会等の主催で開催される、安全管理や専門的な知識・技能の向上を目指す研修会等にも積極的に参加し、社員のスキル向上に努めています。



### （３）異常時対応訓練

毎年１回以上は、ＪＲ東海と合同で運転事故や災害等の異常時を想定した訓練を実施しています。２０２４年度は伊勢鉄道から１２名が参加し、河芸～津間で軌道短絡が発生し通常の信号機を使用した運転が不能になったことを想定して指導通信式を施行する訓練を営業列車終了後の夜間に実際の列車を使用して実施しました。補助制御盤の取扱い、分岐器の鎖錠、手信号の現示など、両社の指令と現場係員が実際の取扱いを行う中で会社間にまたがった情報連絡方法等の訓練を実施し、異常時対応能力の向上を図りました。両社の駅・指令と現場係員が実際の取扱いを行う中で会社間にまたがる情報連絡および連携方法を学び、異常時対応能力の向上を図りました。



指導通信式による運転（指導者腕章の受渡し）



制限速度 15 km/h の運転

## 6 お客様や地元の皆様との連携とお願い

### (1) お客様からのご意見

より安全で信頼される鉄道をつくるため、当社ホームページへのメールや電話等でお寄せいただいたご意見を役立てています。お客さまのご意見は、適宜、役員および本社各部課長、各現業メンバーで組織される会議等で報告し、情報の共有や業務改善策の評価を行うなど、会社全体で安全や経営に活かす取り組みを進めています。

### (2) 沿線にお住まいの皆さまへ

安全な列車運行を行うためには鉄道施設の工事がが必要です。極力、ご迷惑をおかけしないよう努めていますが、工事による騒音や振動でご不便をおかけすることもあります。何卒、ご理解とご協力をお願いします。

### (3) 列車妨害防止のお願い

2024年度は置石や線路内への自転車放置といった列車妨害の発生はありませんでした。

高速で列車が走行する線路敷地内への立ち入りや悪戯は、列車との触車死亡事故や列車脱線事故にも直結する非常に危険な行為です。線路付近で遊んでいる児童等を見かけられましたら、線路内へは決して立ち入らないよう、引き続き注意・指導をお願いします。



2024 秋の交通安全運動



乗車マナー教室 (小学生)

## 7 当社の連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

### <連絡先>

伊勢鉄道株式会社

TEL 059-383-2112 [FAX 共用] (9:00~17:00 土休祝日、年末年始を除く)

E-MAIL [anzen@isetetu.co.jp](mailto:anzen@isetetu.co.jp)

ホームページ <https://isetetu.co.jp/>